

今後の木育の取組について

当面の課題

木育の浸透

ウッドスタート宣言以降、宍粟市の木育の取組は、様々な分野に広がりを見せており、これからは市民や地域団体、企業等が連携しながら森林や木との関わりをさらに深め、森林や木に興味を持ち、木育に携わる人を増やしていく必要がある。

そのためには、すべての年代を通じて木との関わりを深めていく機会を創出するとともに、自然環境の保全、子育て・教育、産業・観光の振興など様々な分野において木育の視点を持って取組を進め、市民生活まで木育を浸透させることが大切となる。

《具体的な課題例》 導入した木製玩具の活用

市内では、いちのびあ（もくもく広場）、波賀子育てセンター（おもちゃ図書館）に様々な種類の木製玩具を導入しており、町外や市外からの利用も増えてきている。

今後、木製玩具を通して、より多くの市民、子どもたちに木の良さを認識してもらい機会を創っていく必要がある。



【令和5年度検討】 宍粟市版木育キャラバンイメージ

市内に導入している木製玩具を活用し、市内で子どもたちが木にふれる機会を創出するとともに、木育の浸透を図る。



※画像は平成30年度開催時（東京おもちゃ美術館連携）